

## ユニシス研究会を通じた価値提供

日本ユニシスグループのユーザー会として約600社のユーザー企業から構成される「ユニシス研究会」。企業の経営課題やICT活用などさまざまなテーマについて、企業の経営層から担当者まで幅広い層を対象としたグループ研究を行っています(2009年度は全国で29グループ189名の方が参加)。

日本ユニシス 鈴木 久美子がテクニカル・アドバイザー(以下、TA)として参加した中部2グループでは、「女性のワークライフバランス ～生涯賃金 今の時代、働き続けてなんぼ!～」を活動テーマに掲げ、業種や職種の異なるさまざまなメンバーが活発な議論を重ねてきました。その成果は2009年度研究活動の優秀賞ならびにエッカー特賞※(審査委員特別賞)を受賞するなど、大変実りの多い研究活動となりました。

※エッカー特賞:コンピュータの生みの親として著名なエッカー博士にちなみ、毎年、論文、グループ研究報告などのなかで、とくに優れたものに対して贈られる賞



「女性のワークライフバランス」をテーマとした3グループにて合同合宿を開催

## 企業の枠を越えた人材育成の場



創造性を発揮し、イノベーションを推し進めることで、より高い価値を提供していくことができる。USOLベトナムが、ベトナムのIT分野を発展させるパイオニア的な会社になっていくことを望みます。USOLベトナム(有) Pham Minh Ngoc



製造流通システム本部  
中部サービス統括P

**鈴木 久美子**



### “素朴な疑問”から始まった研究活動

私たち中部2グループは、会員企業の女性メンバー9名により、「女性のワークライフバランス」、なかでも「生涯賃金」をテーマにした活動を行いました。

「国民生活白書」(内閣府)の統計をもとに試算すると、女性が正社員で働き続けた場合と、結婚後パート勤務になる場合とでは、生涯賃金で2億2,732万円もの差が生じることになります。これだけの賃金差にも関わらず、結婚・出産後も正社員として働き続ける女性が全体の2割にも満たないのはなぜだろう? **多くの女性が結婚や育児など人生の選択を迫られたときに「生涯賃金」という観点を見落としているのではないかと、そうした素朴な疑問から私たちの活動はスタートしました。**

活動の方向性としては、働く女性・男性を対象としたアンケートを行い、その調査結果をもとに、個人や企業に“働き方の見直し”を提言していくことになりました。アンケート実施に向けた会議では、長時間にわたり設問設計に悩みましたが、回答にWeb形式を取り入れることにより、目標の1,000件を上回る、「1,158件」もの回答を集めることができました。

### 動いて!話して!楽しんで!

私自身は、TAの経験が初めてで、すべて手探りの状態でした。参加メンバーも社外活動の経験者が1名のみだったこともあり、活動当初は、驚くほど沈黙が多かったですね。そこで、リラックスして会議に入れるよう、アイスブレイクや30秒プレゼンといった“準備体操タイム”を取り入れまし

た。また、議論が進まないときは小グループに分かれてみることや、各自付箋に意見を書き出してみるなどの方法もお勧めしました。**せっかく研究活動に参加したのに「座って・頷いて・帰る」のではなく、「動いて!話して!楽しんで!」** **いただいたかった。**そうした会議の様子について「バランス良好☆通信」というかわら版を作成し、メンバーにフィードバックするようにもしました。小さな試みですが、メンバーの個性や長所をグループ内で共有できるきっかけになった気がします。

研究活動が進むにつれ、会議も活発になっていき、徐々に9名の女性パワーで一つの目標に向かって走り出しました。論文執筆というハードな時期もありましたが、リーダーを中心に力を合わせ乗り越え、メンバーの会社の方方や事務局からの熱いサポートのもと、全員が完走、そのうえ「優秀賞」をいただきました。表彰式で、メンバーの達成感いっぱい笑顔や涙を見て感じた喜びは、いつまでも忘れられないと思います。TAに求められる役割はグループのメンバー構成やテーマによってさまざまですが、このグループをどのようにサポートしていくか考え続け続けた1年間、振り返れば、私自身の方がメンバーのみなさんに育てていただいていたのかもしれない。貴重な機会にめぐり会えたことに心から感謝しています。

**私は、ユニシス研究会とは、お客さまとユニシスがともに成長していくことのできる「企業の枠を越えた人材育成の場」であると考えています。**そうした意味で「Users & Unisys」の「&」を改めて強く感じた1年で、活動後においてはメンバー同士のつながり(=User & User)をも提供していける場であると感じました。これからも多くの方のみなさまに積極的に参加いただきたいと思います。

URL ユニシス研究会  
<http://www.yuni-ken.gr.jp/>



毎年開催しているソフトボール大会を通して、地域のお客さま企業との交流を図っています。社員一人ひとりが楽しみながら参加できるような、身近な地域貢献活動を期待しています。日本ユニシス・エクセリュエーションズ(株) 堀内 かおり